

## 令和7年度 緑の募金

### 募金運動期間

春期 令和7年3月25日（火）～ 5月31日（土）

秋期 令和7年9月1日（月）～ 10月31日（金）

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンとして、緑の募金運動を進めています。皆様から寄せられた募金は、地域・学校などの身近な緑化の推進、次世代を担っていくみどりの少年団の育成等に有効に活用させていただいています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

### 令和7年度緑の募金の結果

今年度は大規模な山林火災が続き、イオングループでは、山火事復旧支援募金に取り組むこととされたため、イオン（鳥取北店・日吉津店）での街頭募金は中止といたしました。学校募金、家庭募金、企業募金、職場募金、その他募金で合計1,870万円（12月5日現在）となり、募金目標額2,050万円に対し91.3%の実績でした。

ご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査を経た上で、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 「緑の募金」の緑化活動でSDGsに貢献



## 株式会社新日本海新聞社様より「緑の募金」へご寄付いただきました。



12月12日（金）株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、鳥取県議会議長室において、営業局長 遠藤一郎 様より当委員会理事長（福田俊史 県議会議長）へ贈呈していただきました。

ご寄付いただきました「緑の募金」は、みどりの少年団の育成や地域緑化の推進のため有効に活用させていただきます。

（左：（株）新日本海新聞社 営業局長 遠藤一郎 様）  
（右：（公社）鳥取県緑化推進委員会 福田理事長）

## 渡町7区（境港市支部の活動）

境港市の渡町7区自治会は、令和7年4月に地区一斉清掃を行いました。その際、トンド場の桜を見て、「トンド場をもっとこまめに手入れすれば、皆が憩える立派な公園になる！」と思い、有志がトンド場整備隊を結成しました。

会報や口コミで隊員募集して、LINEグループも誕生。老若男女26名の隊員が毎月1回除草や清掃等を行い、トンド場の維持管理を続けています。

今回、緑と水の森林ファンド事業を活用し、雑木の剪定や伐採、桜4本、ツツジ30本、シャクナゲ2本、クロマツ2本、サツキ2本の植樹を行いました。植樹は3日間で、延べ24人の方に参加していただき、植樹後には慰労バーベキュー会も開催し、参加していただいた方の親睦を深め、自治会の活性化にも繋がる活動ができました。今後も、トンド場整備隊の隊員募集、除草や清掃等の維持管理を継続し、区民のみに限らず、保育園児や小中学生のイベント等にも利用していただけるよう整備して、市民の憩いの場となるように、活動を続けてまいりたいと思います。

（参考）トンド場整備隊員26名は七区全区民171名の約15%になります。



植樹の様子



トンド場整備隊



## みどりの少年団交流集会

県内のみどりの少年団が集い、自然の中で相互の交流と活動の活性化を図るため「みどりの少年団交流集会」を毎年実施しています。座学や体験活動を通じて緑に親しみ、森林・川・海の関係について理解を深める機会となっています。

今年は10月25日（土）に船上山少年自然の家（琴浦町）を拠点に開催し、久米小学校（倉吉市）の4年生2名、泊小学校（湯梨浜町）4～6年生4名、宮下小学校（鳥取市）4年生1名、合計7名が参加しました。

木工工作では金づちで釘を打ち、紙やすりで表面を仕上げ、プランター作りを体験しました。

座学では、株式会社ニッスイの社員から、森を守ることが海を守ることに繋がり、魚が元気になるということを学びました。その後、弓ヶ浜水産株式会社の「船上山採卵センター」を見学しました。子どもたちは講師の方の言葉に熱心に耳を傾け、サケの生育（養殖）期間や出荷時の平均的な重さについて質問をするなど、意欲的な姿が見られました。

午後からは、今年9月に環境省の自然共生サイトに認定された「ニッスイ おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」で、下草刈り作業を体験しました。あいにくの天気となり途中で中止になりましたが、植樹されている苗木（ヤマザクラ等）が成長しやすいように一生懸命に雑草を刈りました。



サケの稚魚の養殖を見学



参加者集合写真



森林整備作業（下草刈り）体験

## 学校環境緑化モデル事業完成式

11月20日（木）、伯耆町立八郷小学校（森川寿子校長）、湯梨浜町立泊小学校（岡本律子校長）で学校環境緑化モデル事業の完成式典が行われました。

この学校環境緑化モデル事業は、ローソングループが店頭募金箱で集めた「ローソン緑の募金」を財源として各県の緑化推進委員会を通して、全国80の小・中学校及び特別支援学校に助成されたものです。

令和7年度、鳥取県内ではこの2校が助成決定を受け事業に取り組み、このほど事業が完成し、式典が行われました。泊小学校では「学園の森」にドウダンツツジを植え、子どもたちの憩いの場が生まれました。ローソンの決めポーズで記念写真を撮影し、式典を終了しました。八郷小学校では校舎の窓の日ざしを遮っていた木々の剪定や枯れて危険なサクラの巨木を伐採しました。完成式当日は参観日で多くの保護者の方に整備の状況を見ていただきました。



湯梨浜町立泊小学校



伯耆町立八郷小学校

## ■ 「森の教室」 IN鳥取県 開催



令和7年11月17日（月）から19日（水）、境港市なかはま保育園、湯梨浜町とうごうこども園、倉吉市森のようち園キンダガーデンで「森の教室」が開催されました。

「森の教室・どんぐりくんと森の仲間たち」のキャラバン隊が、保育園を訪れ、約1時間30分のイベントを行いました。

イベントでは森の楽しさ大

切さを学ぶ「森のキャラクターショー」、どんぐりくんとふぁみたんと踊るオリジナル「森のダンス」、園児とキャラバン隊で行う「どんぐりまき」の3つのプログラムで構成されています。

緑の募金キャラクター「どんぐりくん」とAIロボット「ふぁみたん」、司会進行役の「森のおねえさん」が登場して、森についてわかりやすく、楽しく園児たちの参加形式で進められ、森の大切さを楽しみながら学んでいました。

プランターにどんぐりをまいた後、「どんぐりを大切に育てます」と宣言してイベントは終了しました。

「森の教室」はファミリーマートの店頭募金「夢の懸け橋募金」の協力で、国土緑化推進機構と県緑化推進委員会が共同で実施する全国巡回型のイベントです。

## ■ 「みんなでつくるドングリの森」植樹祭

11月10日（月）「とっとり出合いの森」（鳥取市）にて、「みんなでつくるドングリの森」植樹会が開催され、鳥取県内の50人の園児が、コナラの苗木を一人一本ずつ植樹しました。

この苗木は「森の教室」に参加した園児たちがドングリをまき、2年間それぞれの園で大切に育てたものです。その後、11月3日にオープンしたとっとり出合いの森湖山池天空エリアに移動してダンスを楽しみました。

この活動は、ファミリーマートの店頭募金「夢の懸け橋募金」を通じて「子どもたちの未来の森づくり事業」が活用され実施しています。



琴浦町立こがねこども園 11人、鳥取市立福部保育園 25人、鳥取市立湖南保育園 14人

## 木工工作キット配布事業

次代を担う県内の小・中学校を対象に、県産材を使用した木工工作キット及び木工作品制作用スギ板を提供し、木の良さを啓発することで、県産材の利用拡大に取り組んでいます。毎年たくさんの小・中学校から申し込みがあり、木の良さともぐもり、香りを感じてもらえました。一部を紹介します。



琴浦町立聖郷小学校



琴浦町立浦安小学校

### (感想)

- ・釘打ちや組み立てを通して木の温かみや物作りの楽しさを感じることができ、組み立て作業をする時間がとても楽しかったです。
- ・どんなものにしようか、わくわくしながら本棚を作ることができました。自分が作った本棚を持って帰ることができるのがうれしく、どこに置こうか楽しみです。

## 鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

児童・生徒が緑化ポスター原画を作成することにより、国土緑化の重要性を認識し、県民の緑化意識を高めることを目的に募集した「令和7年度鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」の受賞作品が、下記のとおり決定しました。

### 令和7年度鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 審査結果

	鳥取県知事賞	鳥取県教育委員会 教育長賞	(公社)鳥取県緑化 推進委員会理事長賞	佳 作	
小学校の部	 鳥取市立大正小学校 2年 山口 貴一	 鳥取大学附属小学校 6年 國吉 拓未	該当なし	該当なし	該当なし
中学校の部	 琴浦町立赤碓中学校 2年 財賀 琉乃	 南部町立法勝寺中学校 2年 川上 双葉	 米子市日吉津村中学校 組合立箕蚊屋中学校 2年 福田 智世	 鳥取市立西中学校 2年 北村 彩偉	 米子市立後藤ヶ丘中学校 2年 越河 由風
高等学校の部	 学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年 内野 鼓太郎	 学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年 浅田 倅奈	 学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年 原田 美海	 学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年 佐久間 優衣	 学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 3年 中前 空

## 令和7年度 中国・四国地区緑化功労者の表彰（伝達式）

三朝町大瀬の大瀬（おおぜ）造林組合が「令和7年度中国・四国地区緑化功労」を受賞され、令和7年10月23日（木）に広島市で開催された「第72回中国・四国地区緑化推進協議会」内で表彰式が行われました。



（左：大瀬造林組合 山崎組合長）  
（右：中部総合事務所 木本所長）

令和7年11月21日（金）に鳥取県中部総合事務所長室にて木本美喜中部総合事務所長から大瀬造林組合山崎政一組合長へ表彰状の伝達式が行われました。

大瀬造林組合では、26年間にわたって、地域の森林の間伐や苗木植栽などの整備活動のほか地域の児童を対象とした森林環境教育などに取り組んでいることが評価されました。

山崎会長は、「組合員を中心とした日頃の活動が認められたことは大変ありがたい。組合員も高齢化が進んでいるので、若い世代が受け継いで、今の山を引き続き守っていただきたい。」と話していました。

## 「一株植樹」運動に参加しませんか。

「一株植樹」運動は、緑化推進運動の一つです。樹木には、四季折々の表情があり、私たちの暮らしに潤いを与えてくれます。また二酸化炭素を吸収し、土壌を豊かにし、SDGs目標15「陸の豊かさも守ろう」の実現に貢献します。緑豊かな郷土とするため、この運動に多くの方が参加され、緑を育てていただきますようお願いいたします。

まず身近な家庭の緑化から始めませんか。

詳しくは当委員会ホームページをご覧ください。

ホームページ

協力 鳥取県山林樹苗協同組合・北栄グリーン

期間：1月～2月

苗木の引渡し：3月上旬にお渡しします。

## 会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一〇 1万円

## お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220  
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内  
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会  
電話：0857-26-7416  
FAX：0857-26-8192  
URL：http://www.tottori-green.or.jp

